

新型コロナウイルス感染症 仙台市 週報

(令和3年4月12日～令和3年4月18日)

令和3年4月23日

仙台市感染制御地域支援チーム

仙台市保健所


今週の仙台市感染状況のまとめ①（令和3年4月23日）

- 仙台市では、4月12日から4月18日に判明した陽性者数は先週と比較すると**379名**から**235名**に減少していますが、期間中の**感染経路不明の割合は約 5 割（53%）**となっており、国の指標のステージⅣ 50%を超えています。
- **人口10万人あたりの陽性者数**は4月18日時点で**21.6人**と、国の指標のステージⅢ 15人を**超えています**。
- **仙台医療圏の病床使用率**は**約 9 割（85%）**、**重症者病床使用率**は**約 8 割（77%）**となっておりひっ迫した状況が続いています（表2）

今週の仙台市感染状況のまとめ②（令和3年4月23日）

- **新規陽性者数の7日間移動平均値**は4月18日時点で **33.6人**となっています。
- **20代から50代の働き盛りの年代の方が5割以上（55%）**を占めています。
（図2、図3）
- **クラスターの発生は4件**で、高齢者施設、設備工事業、保険業、不動産賃貸業・管理業で各1件ずつ発生しており、**引き続き複数のクラスター**が確認されています。
また、複数の陽性者が確認された業種・業態の公表は、**6件**でした。
（表3、表4）

仙台市感染制御地域支援チームと仙台市が、共同で発生状況の分析を行っています。



令和3年4月5日から5月5日までは
「まん延防止等重点措置を実施すべき期間」となります。
（詳しくは次のページへ）

まん延防止等重点措置による要請内容

県民への要請(県内全域)

※仙台市ホームページより

- 不要不急の外出や移動を自粛すること
- 県外との不要不急の往来は自粛すること
- 特に混雑する時間帯や混雑する場所へは、できるだけ行かないようにすること
- 多人数での旅行は自粛・延期し、家族・友人などとの少人数の旅行も、慎重に判断すること
- 営業時間短縮を要請した時間以降、飲食店等のみだりに出入りしないこと
- 歓送迎会・新歓コンパ・飲食を伴う謝恩会や花見などの開催を自粛すること
- 感染拡大予防ガイドラインを遵守していない飲食店の利用を自粛すること
- 飲酒を伴う多人数や長時間におよぶ会食を自粛すること・会食の際のマスク着用を徹底すること、飲食を伴わない場合も注意すること
- 飲食店の求める感染防止策へ積極的に協力すること

仙台市感染制御地域支援チームからのコメント

～感染の急拡大を止めるために市民の皆様にご協力をお願いしたいこと①～

- 大型連休に伴い、急速な感染拡大の恐れがあります。ゴールデンウィーク中においても、不要・不急の外出・移動を控え、人との接触を避けるようにしてください。
- 市民1人1人が日常生活の中で、改めて、「マスクの着用」や「手洗い」を徹底するとともに、「3密」を避けてください。特に換気は、常時の機械換気や、常時の機械換気が設置されていない場合は常時窓開けをするなどの対策をお願いします。
- ご家族、同居の方からの感染が多数確認されています。家庭内感染予防のためのハンドブックがございますので、ご覧ください。
「新型コロナウイルス感染症感染予防ハンドブック（自宅療養をする方へ）」



仙台市感染制御地域支援チームからのコメント

～感染の急拡大を止めるために市民の皆様に気をつけていただきたいこと②～

- 少人数の場合でも、会話の際には必ずマスクを着用したり、マスクを外している食事の間は会話を控えてください。
(例えば、休憩時間、昼食時、喫煙時など)
- 会食、飲み会、集まってのカラオケ、イベントなど、今行くべきなのか立ち止まって考えてください。

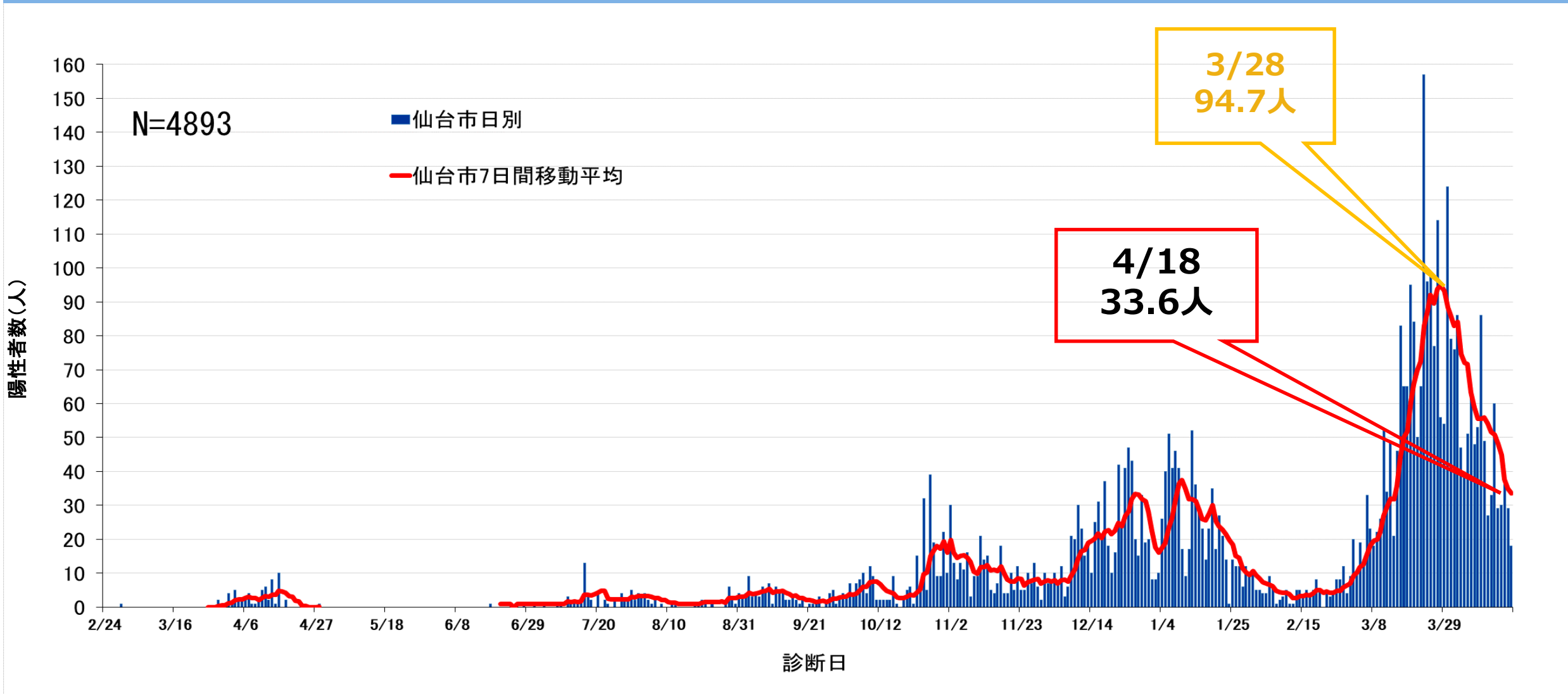


**病床がひっ迫しています。今くい止めなければ、
適切な医療提供が困難になります。**

皆様の行動、感染対策にかかっています！

図 1

仙台市新規陽性者数（診断日別）（令和2年2月24日～令和3年4月18日）



※7日間移動平均：6日前から当日までの7日間の新規陽性者数の平均値

図2

仙台市新規陽性者割合（年代別）（令和3年3月15日～令和3年4月18日）

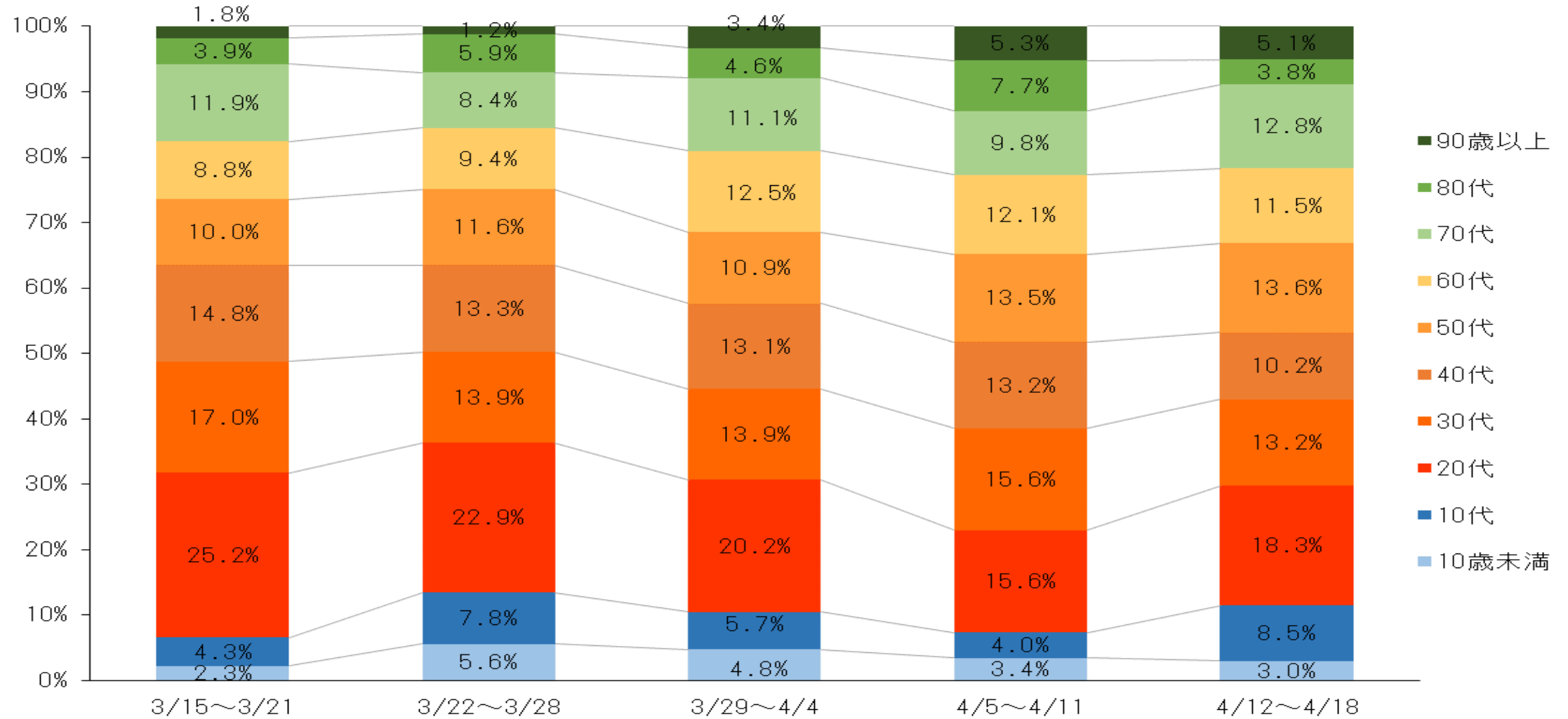
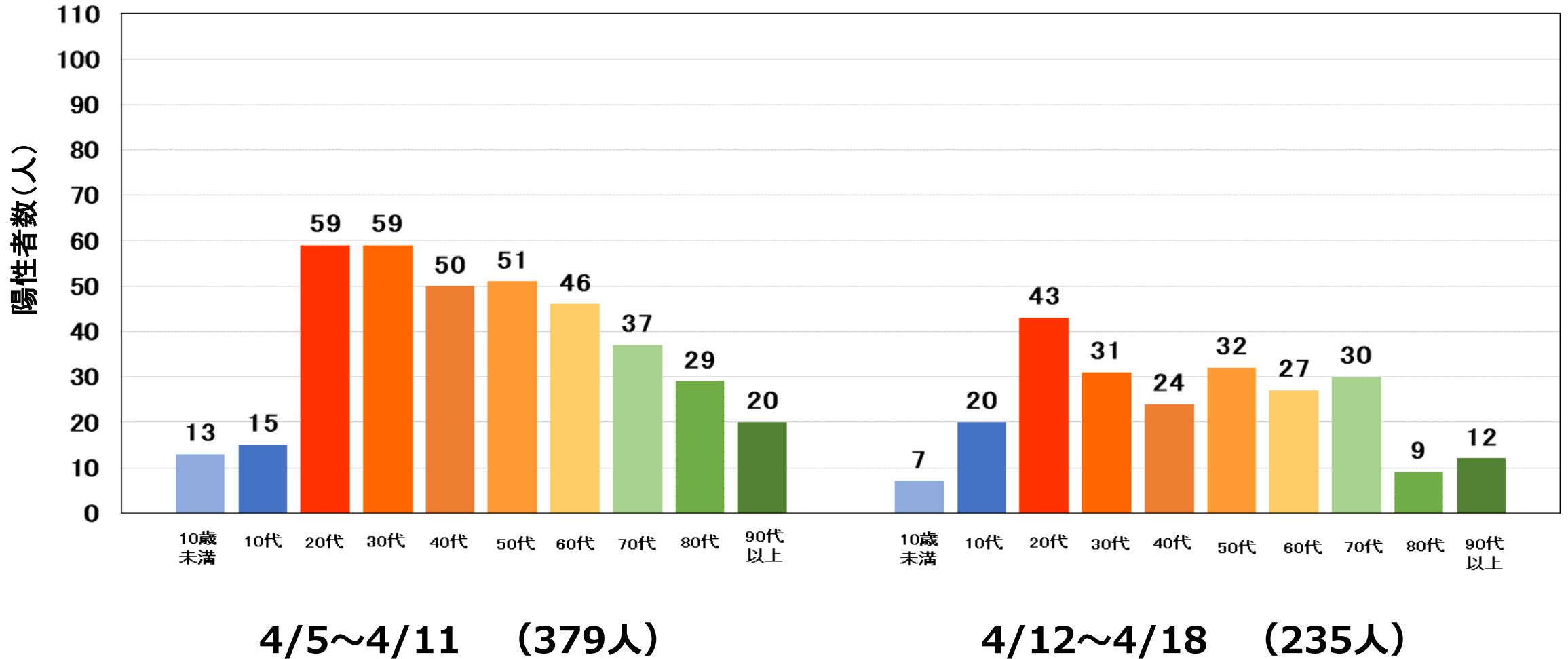


図3

仙台市新規陽性者数（年代別）（令和3年4月5日～令和3年4月18日）



【参考】新型コロナウイルス変異株について①

※仙台市ホームページより

変異株の分類について

変異株とは？

一般的に、ウイルスは流行していく中で少しずつ変異を起こしていきます。この変異したウイルスが変異株です。変異が起こると性質の変化が起こり、感染しやすくなったりする場合があります。

N501Yの変異がある変異株について

「N501Yの変異がある変異株」は従来よりも感染しやすい可能性・重症化しやすい可能性が指摘されています。

英国で確認された変異株、南アフリカで確認された変異株、ブラジルで確認された変異株、フィリピンで確認された変異株がこの変異を有しています。英国で確認された変異株以外についてはE484K変異も伴っています。

E484Kの変異がある変異株について

「E484Kの変異がある変異株」は、従来株よりも、免疫やワクチンの効果を低下させる可能性が指摘されています。

感染予防で気を付けていただきたいこと

個人の基本的な感染予防策としては、変異株であっても、従来と同様に、3密の回避、特に会話時のマスクの着用、手洗いなどの徹底が推奨されます。

【参考】新型コロナウイルス変異株について② ※仙台市ホームページより

検査の実施状況

更新日(4月22日)

■ N501Yの変異がある変異株のスクリーニング検査（仙台市衛生研究所等で検査）

(A) 陽性患者数（1月14日～4月18日判明分）	(B) 検査実施件数（B/A）	(C) 陽性件数(C/B)
3082件	908件（29.5%）	16件（1.8%）

■ E484Kの変異がある変異株に係る確認検査（国立感染症研究所で検査）

(A) 陽性患者数（1月21日～4月9日判明分）	(B) 検体送付件数（B/A）	(C) 結果判明件数（C/A）	(D) 陽性件数(D/C)
2579件	400件（15.5%）	304件（11.8%）	261件（85.9%）

[新型コロナウイルス感染症変異株について\(仙台市ホームページ内へリンク\)](#)

【参考】 令和2年8月7日 新型コロナウイルス感染症対策分科会提言

提言では、「十分に制御可能なレベルに感染を抑制し、死亡者・重症者数を最少化する、感染レベルをなるべく早期に減少に転じさせる」という目標の下、今後想定される感染状況を4つの段階（ステージⅠ～Ⅳ）に区分しています。

	医療提供体制等の負荷		療養者数	監視体制 PCR陽性率	感染の状況		
	病床のひっ迫具合				新規報告数	直近一週間 と先週一週間 の比較	感染経路不明 割合
	病床全体	うち重症者用病床					
ステージⅢ	<ul style="list-style-type: none"> 最大確保病床の占有率1/5以上 現時点の確保病床数の占有率1/4以上 <small>※最大確保病床：都道府県がピーク時に向けて確保しようとしている病床数 ※現時点の確保病床数：現時点において都道府県が医療機関と調整を行い、確保している病床数（直近に追加確保できる見込みがある場合はその病床分も追加）</small>	<ul style="list-style-type: none"> 最大確保病床の占有率1/5以上 現時点の確保病床数の占有率1/4以上 	人口10万人当たりの全療養者数15人以上 <small>※全療養者：入院者、自宅・宿泊療養者等を含めた数</small>	10%	15人/10万人/週以上	直近一週間が先週一週間より多い	50%
ステージⅣ	<ul style="list-style-type: none"> 最大確保病床の占有率1/2以上 	<ul style="list-style-type: none"> 最大確保病床の占有率1/2以上 	人口10万人当たりの全療養者数25人以上 <small>※全療養者：入院者、自宅・宿泊療養者等を含めた数</small>	10%	25人/10万人/週以上	直近一週間が先週一週間より多い	50%

表 1

仙台市の感染状況・医療提供体制の状況

区分	感染状況指標	(令和3年4月5日 ～ 令和3年4月11日)	現在の数値 (令和3年4月12日～ 令和3年4月18日)	ステージⅢ の指標 (※2)	ステージⅣ の指標 (※2)
感染 の 状況	① 1週間の総陽性者数	379人	235人		
	② 人口10万人あたりの 週間発生報告数	34.8人	21.6人	15人	25人
	③ 直近1週間／先週1週間の 陽性者数比	0.75	0.62	1	1
	④ 新規陽性者数(※1)	54.1人	33.6人	—	—
	⑤ 新規陽性者数における 接触歴等不明者数(※1)	30.4人	17.6人	—	—
	⑥ 感染経路不明割合(※1)	57%	53%	50%	50%
	⑦ 検査の陽性率(※1)	16.7%	15.5%	10%	10%
医療 提供 体制	⑧ 入院患者数	157人 (4月15日時点)	110人 (4月22日時点)	—	—
	⑨ 重症患者数	14人 (4月15日時点)	15人 (4月22日時点)	—	—

※1 ④⑤⑥⑦は7日間移動平均で算出、⑥は陽性者公表時点の数値

⑦は、仙台市衛生研究所で実施した行政検査（PCR検査）件数で算出

※2 指標：令和2年8月7日新型コロナウイルス感染症対策分科会提言「今後想定される感染状況と対策について」¹³

表2 【参考】
宮城県の医療提供体制状況（令和3年4月22日公表）※宮城県記者発表資料より

＜全県の受入可能病床の状況＞

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	262床	32床
入院者数 (使用病床数)	200人	19人
使用率	76.3%	59.4%

＜仙台医療圏の受入可能病床の状況＞

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	166床	22床
入院者数 (使用病床数)	142人	17人
使用率	85.5%	77.3%

※受入可能病床・・・対応人員や入退院の状況により実際に各医療機関が当日に受入可能な病床
(4月22日15時時点)

ステージ3で講ずべき施策 (メリハリの利いた接触機会の低減)

【対事業者】

- ・ガイドラインを遵守していない酒類の提供を行う飲食店の休業要請等
- ・イベント開催の見直し
- ・人が集中する観光地の施設等における入場制限等
- ・接触確認アプリの導入をイベントや企画旅行等の実施に当たって要件化
- ・飲食店における人数制限

【対個人】

- ・夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の要請
- ・飲食店における人数制限
- ・若年者の団体旅行など感染予防を徹底できない場合等における、感染が拡大している地域との県境を越えた移動自粛の徹底

ステージ4で講ずべき施策 (全面的な接触機会の低減)

【緊急事態宣言など強制性のある対応を検討せざるを得ない】

- ・接触機会の低減を目指した外出自粛の要請や県境を越えた移動の自粛要請
- ・感染リスクやガイドラインの遵守状況等を考慮しつつ、生活必需品等を取り扱う事業者等を除いた施設の使用制限等

【公衆衛生体制】

- ・クラスター対策は重傷者リスク対策を考慮して更に重点化
- ・重症化リスクの高い発症者を優先的に対応する等

【医療提供体制】

- ・入院治療が必要な方への医療提供を徹底的に優先した医療提供体制
- ・臨時の医療施設の運用・追加開設

【その他の重要事項】

- ・行動変容に対する国民・住民の理解を得るための積極的なリスクコミュニケーションの実施

感染拡大防止のための情報提供 1

(1) 業種・業態の公表等①

令和3年4月12日～令和3年4月18日

番号	公表日	施設の業種・業態等
3-53	4月13日	保険業
3-54	4月14日	医療機関
3-55	4月14日	総合工事業

※クラスターと判定される前に公表に至った事例を含みます。

※宮城県と共同で策定した新型コロナウイルス感染症拡大防止のための市民への情報提供（呼びかけ）を行う基準に基づき、施設の業種・業態、また、施設内の状況で感染拡大に影響があると推測される事項について情報提供、注意喚起を行っております。

感染拡大防止のための情報提供 1

(1) 業種・業態の公表等②

令和3年4月12日～令和3年4月18日

番号	公表日	施設の業種・業態等
3-56	4月15日	事業サービス業
3-57	4月16日	不動産賃貸業・管理業
3-58	4月17日	事業サービス業

◎感染拡大につながったと考えられる感染リスク

- ・ マスクを着用せずに、十分な距離を取らずに会話をしていた。
- ・ 休憩時に食事を共にする際、会話をしていた。

感染拡大防止のための情報提供 2

(2) クラスタ発生日及び施設の業種・業態等 令和3年4月12日～令和3年4月18日

番号	発生日	施設の業種・業態等
3-47	4月12日	高齢者施設
3-52	4月13日	設備工事業
3-53	4月13日	保険業
3-57	4月16日	不動産賃貸業・管理業

※クラスタ発発生施設

同一の場において、5人以上の感染者の接触歴等が明らかとなっていることが目安とされています。

※クラスタ発生日

クラスタ発発生施設において、接触歴等が明らかとなっている5人以上の患者が発生した日